

# 他機関が実施する調査データ分析結果報告

(第 25 回長浜企業景況調査参考資料)

報告年月 令和 4 年 11 月

長浜商工会議所

---

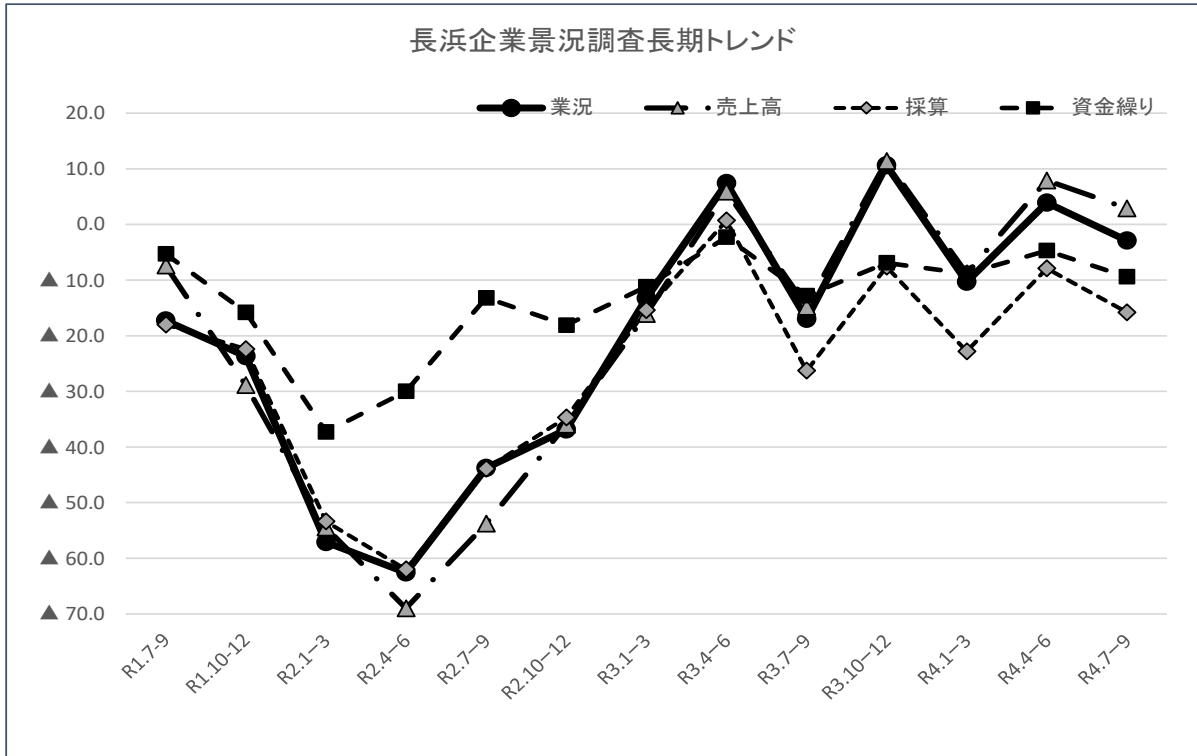
## 目 次

1. 長浜市の景況	
(1) 長浜企業景況調査…各種D I の長期トレンド	1
(2) 長浜企業景況調査…業種別・仕入価格D I の推移	1
2. 滋賀県の景況	
(1) 滋賀県景況調査報告（滋賀県商工政策課編）	2
(2) 県内経済概況（(株)しがぎん経済文化センター編）	7
(3) 中小企業アンケート結果（滋賀県信用保証協会編）	9
3. 近畿の景況	
(1) 地域経済動向（近畿）（内閣府編）	10
(2) 中小企業景況調査（近畿）（中小企業基盤整備機構編）	10
4. 全国の景況	
(1) 日銀短観（日本銀行）	11
(2) 中小企業景況調査（全国）（中小企業基盤整備機構編）	13

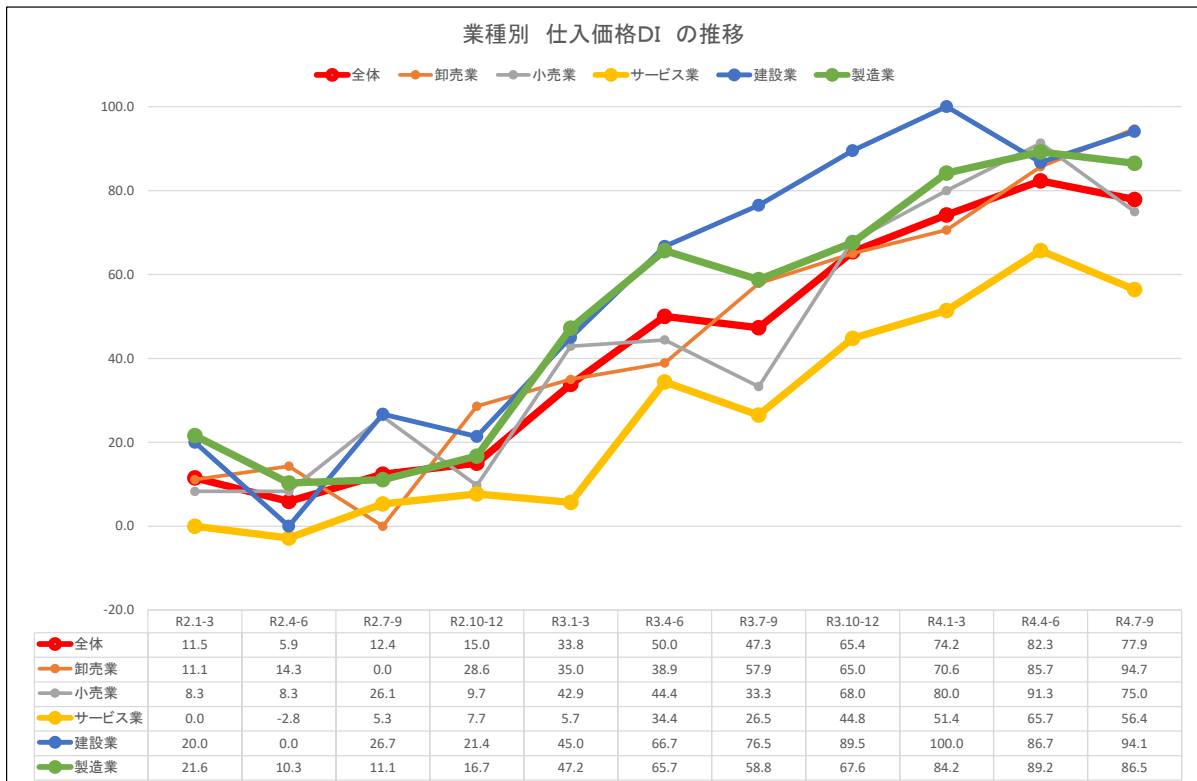
※本資料は上記資料をもとに作成したが、一部加筆変更部分が含まれる。

# 1. 長浜市の景況

## (1) 長浜企業景況調査…各種D I の長期トレンド [前年同期比較]



## (2) 長浜企業景況調査…業種別・仕入価格D I の推移 [前年同期比較]

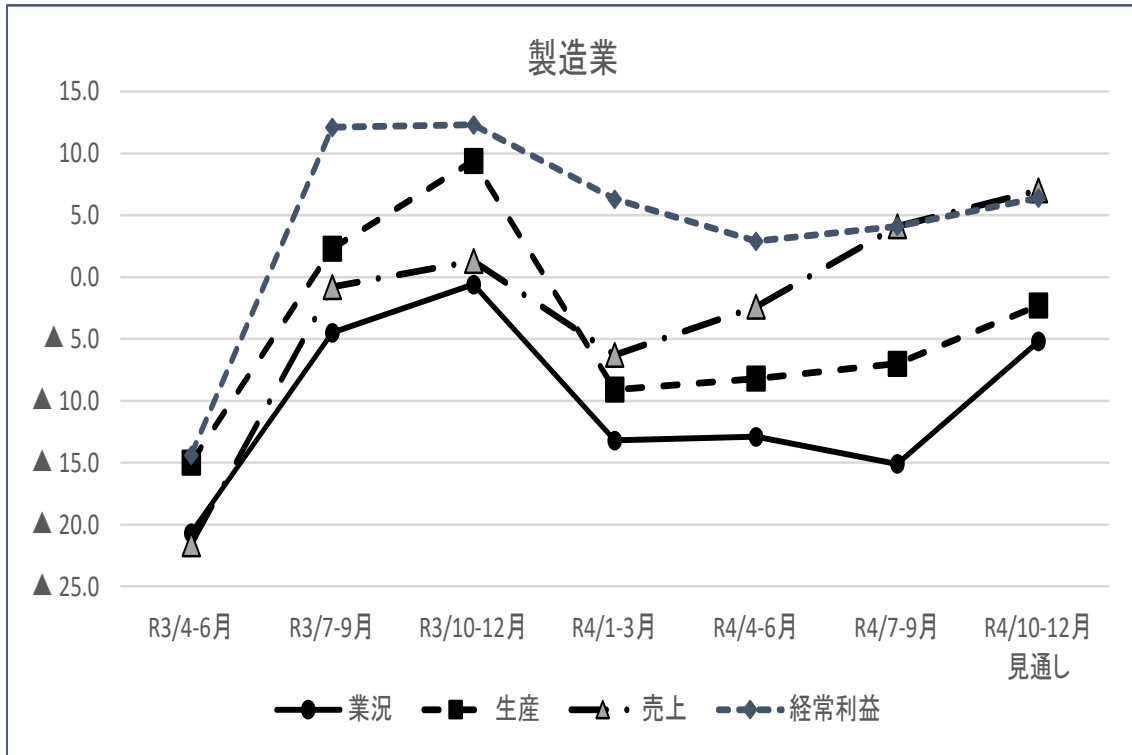


## 2. 滋賀県の景況

### (1) 滋賀県景況調査報告（滋賀県商工政策課編）

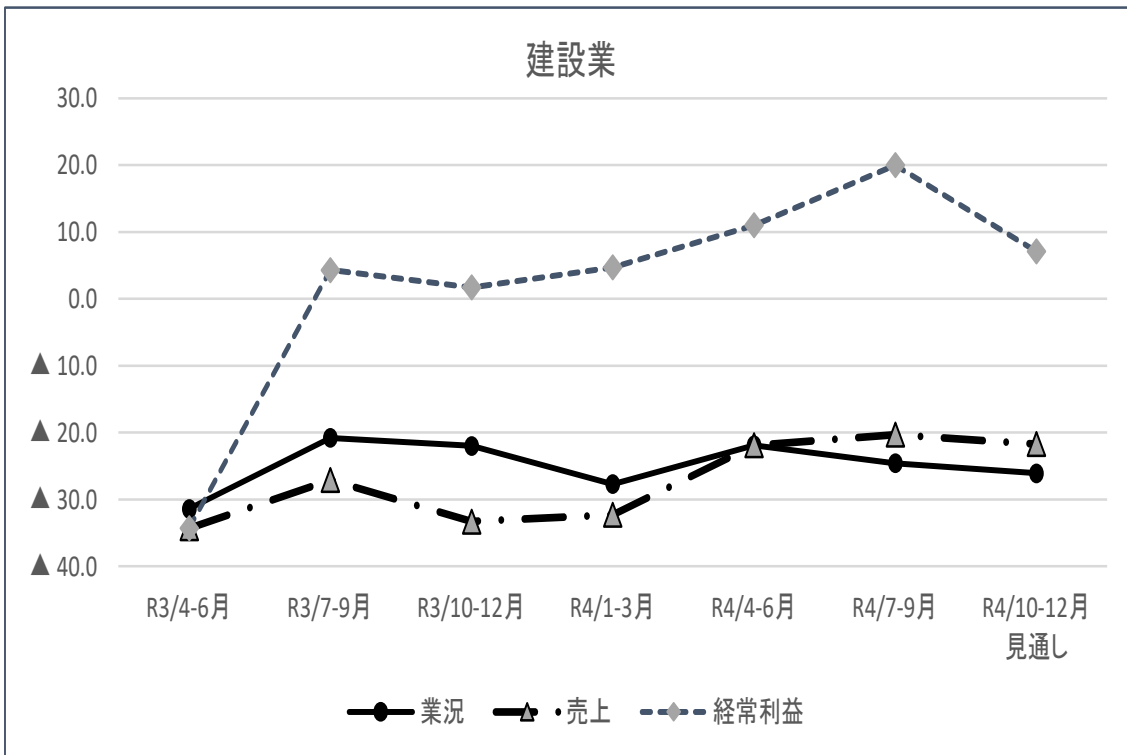
#### ① 滋賀県の業種別景況動向

（R4/7-9月実績、R4/10-12月見通し）〔前年同期比較〕



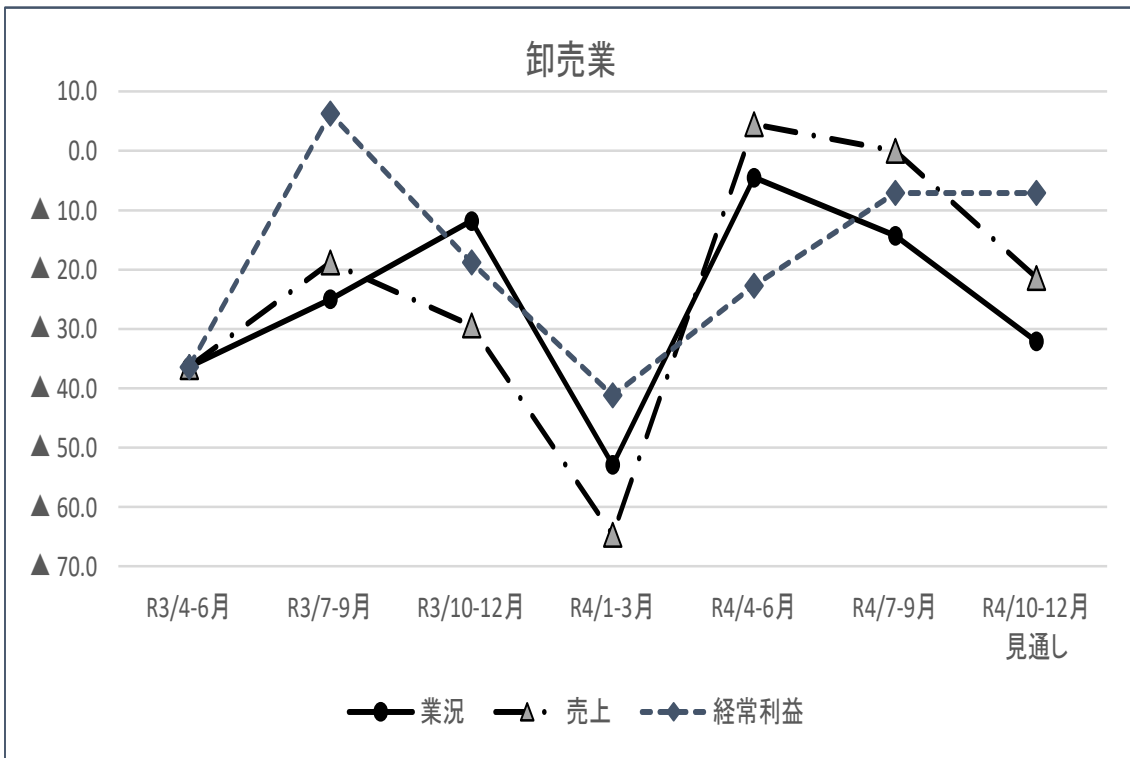
製造業	R3/4-6月	R3/7-9月	R3/10-12月	R4/1-3月	R4/4-6月	R4/7-9月	R4/10-12月見通し
業況	▲ 20.7	▲ 4.5	▲ 0.6	▲ 13.2	▲ 12.9	▲ 15.1	▲ 5.2
生産	▲ 15.0	2.3	9.4	▲ 9.1	▲ 8.2	▲ 7.0	▲ 2.3
売上	▲ 21.6	▲ 0.8	1.3	▲ 6.3	▲ 2.4	4.1	7.0
経常利益	▲ 14.4	12.1	12.3	6.3	2.9	4.1	6.4
傾向	●	●	●	×	●	×	●
回答社数	140	132	155	159	171	172	172

\*傾向…●は好転、▲は横ばい、×は悪化を示す。



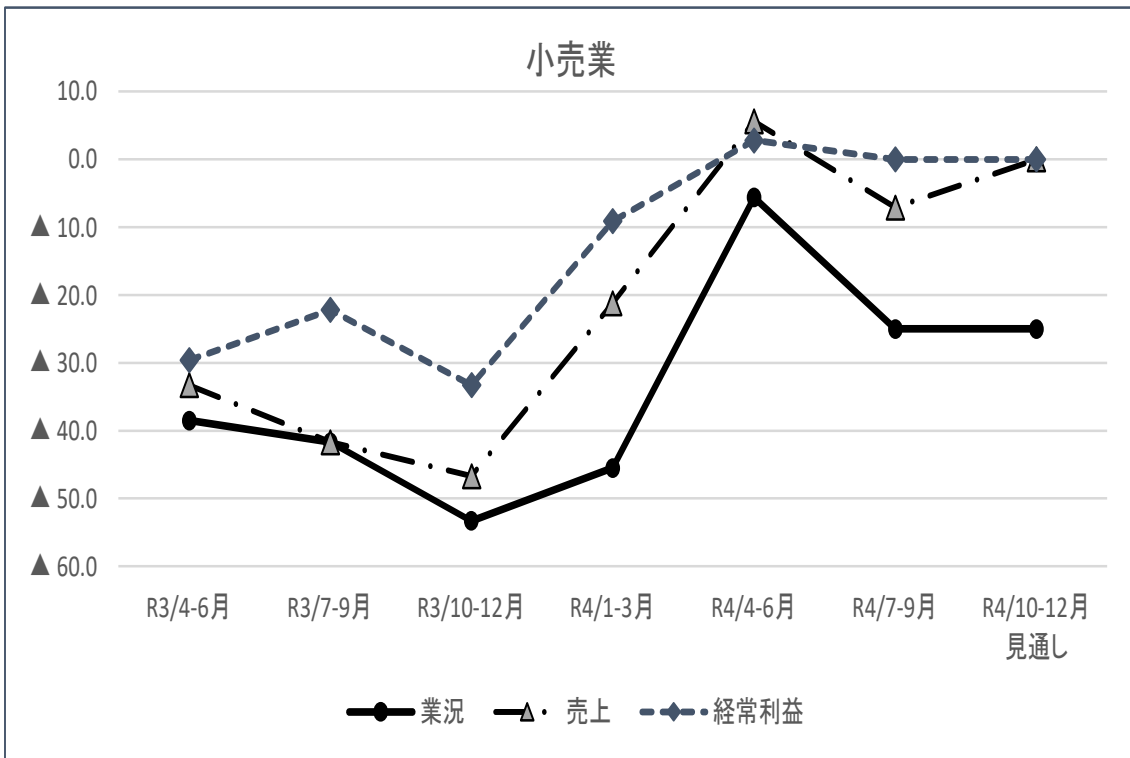
建設業	R3/4-6月	R3/7-9月	R3/10-12月	R4/1-3月	R4/4-6月	R4/7-9月	R4/10-12月 見通し
業況	▲ 31.4	▲ 20.8	▲ 22.0	▲ 27.7	▲ 21.9	▲ 24.6	▲ 26.1
売上	▲ 34.3	▲ 27.1	▲ 33.3	▲ 32.3	▲ 21.9	▲ 20.3	▲ 21.7
経常利益	▲ 34.3	4.3	1.7	4.7	11.0	20.0	7.1
傾向	●	●	×	×	●	×	×
回答社数	35	48	61	65	73	70	70

\*傾向…●は好転、▲は横ばい、×は悪化を示す。



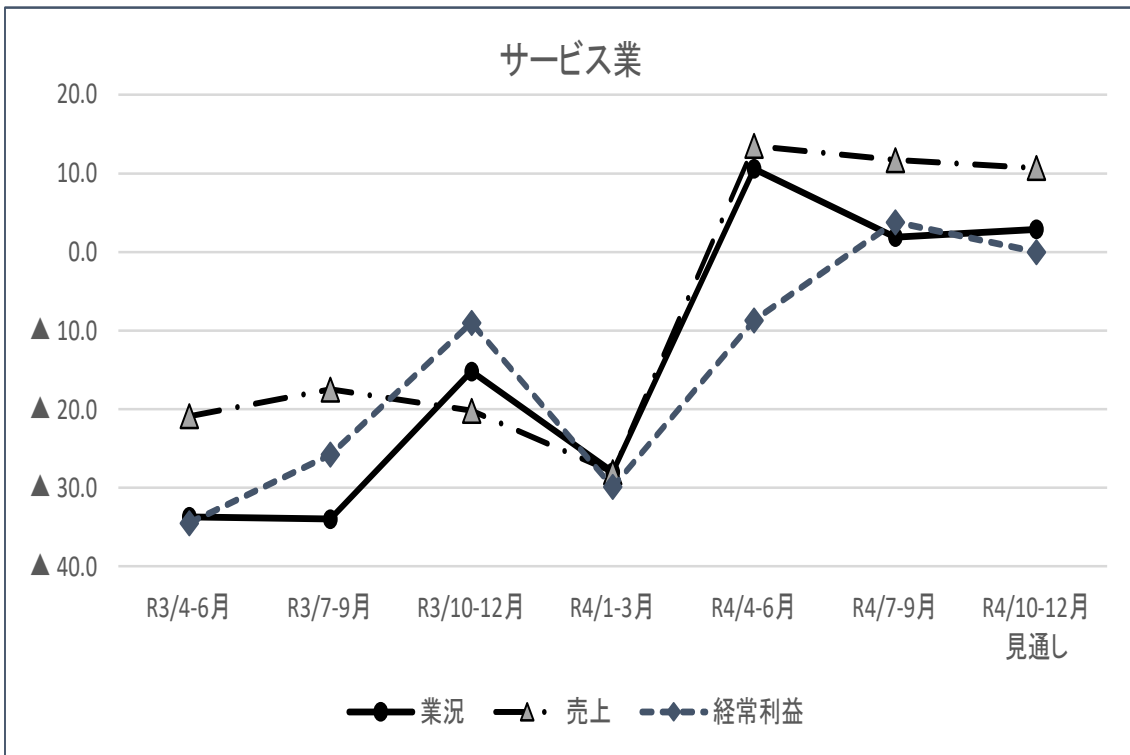
卸売業	R3/4-6月	R3/7-9月	R3/10-12月	R4/1-3月	R4/4-6月	R4/7-9月	R4/10-12月見通し
業況	▲ 36.4	▲ 25.0	▲ 11.8	▲ 52.9	▲ 4.5	▲ 14.3	▲ 32.1
売上	▲ 36.4	▲ 18.8	▲ 29.4	▲ 64.7	4.5	0.0	▲ 21.4
経常利益	▲ 36.4	6.3	▲ 18.8	▲ 41.2	▲ 22.7	▲ 7.1	▲ 7.1
傾向	●	●	●	×	●	×	×
回答社数	11	16	18	17	22	28	28

\*傾向…●は好転、▲は横ばい、×は悪化を示す。



小売業	R3/4-6月	R3/7-9月	R3/10-12月	R4/1-3月	R4/4-6月	R4/7-9月	R4/10-12月 見通し
業況	▲ 38.5	▲ 41.7	▲ 53.3	▲ 45.5	▲ 5.6	▲ 25.0	▲ 25.0
売上	▲ 33.3	▲ 41.7	▲ 46.7	▲ 21.2	5.6	▲ 7.1	0.0
経常利益	▲ 29.6	▲ 22.2	▲ 33.3	▲ 9.1	2.8	0.0	0.0
傾向	×	×	×	●	●	×	▲
回答社数	27	36	30	33	36	28	28

\*傾向…●は好転、▲は横ばい、×は悪化を示す。



サービス業	R3/4-6月	R3/7-9月	R3/10-12月	R4/1-3月	R4/4-6月	R4/7-9月	R4/10-12月見通し
業況	▲ 33.7	▲ 34.0	▲ 15.2	▲ 28.0	10.6	1.9	2.9
売上	▲ 20.9	▲ 17.5	▲ 20.2	▲ 28.0	13.5	11.7	10.7
経常利益	▲ 34.5	▲ 25.8	▲ 9.0	▲ 29.9	▲ 8.7	3.8	0.0
傾向	●	×	●	×	●	×	●
回答社数	88	97	101	107	104	104	104

\*傾向…●は好転、▲は横ばい、×は悪化を示す。

## ② 滋賀県の景況調査 [企業から寄せられたコメント]

滋賀県内企業のコメント (R4/7-9月期)
<p><b>業況判断【好転】企業コメント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原材料価格の高騰により利益率は低下の見込み（製造業）。</li> <li>・受注はコロナ発生前の水準に戻りつつある（製造業）。</li> <li>・コロナ等の影響により、前年、大手からの受注が落ち込んだが本年は回復基調（卸売業）。</li> <li>・今後のコロナの影響がどうなるか不確定要素が大きい（サービス業）。</li> </ul>
<p><b>業況判断【不変】企業コメント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕入の値上がり激しく、売上もまだコロナの影響を受けている（小売業）。</li> <li>・原材料の高騰、人員確保が課題（建設業）。</li> <li>・原材料高騰の影響が利益を圧迫している（製造業）。</li> <li>・材料費・輸送費の高騰に、電子部品が手に入りづらくなることにより、注文いただいても納期の見通しが立てづらい状況（製造業）。</li> <li>・売上や採算はあまり変化無いと見ているが、繁忙期に向けたアルバイトの採用についてかなり不安。本年も採用に苦労した（サービス業）。</li> </ul>
<p><b>業況判断【悪化】企業コメント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最低賃金上昇分が契約単価に反映されないため、経営は厳しい（サービス業）。</li> <li>・中国のロックダウンの影響、半導体不足の影響があり、しばらくは良くない状況が続くとみられる（製造業）。</li> <li>・原材料高騰の影響により悪化する見通し（サービス業）。</li> <li>・コロナ陽性者の数が爆発的に増加した影響で、また売上が減少している（卸売業）。</li> <li>・原材料や副資材、消耗品、電気代などの価格高騰分の売価への価格転嫁が追いついていない。客先での在庫滞留などにより、売上見通しも悪い（製造業）。</li> </ul>

## (2) 県内経済概況(株しがぎん経済文化センター編)

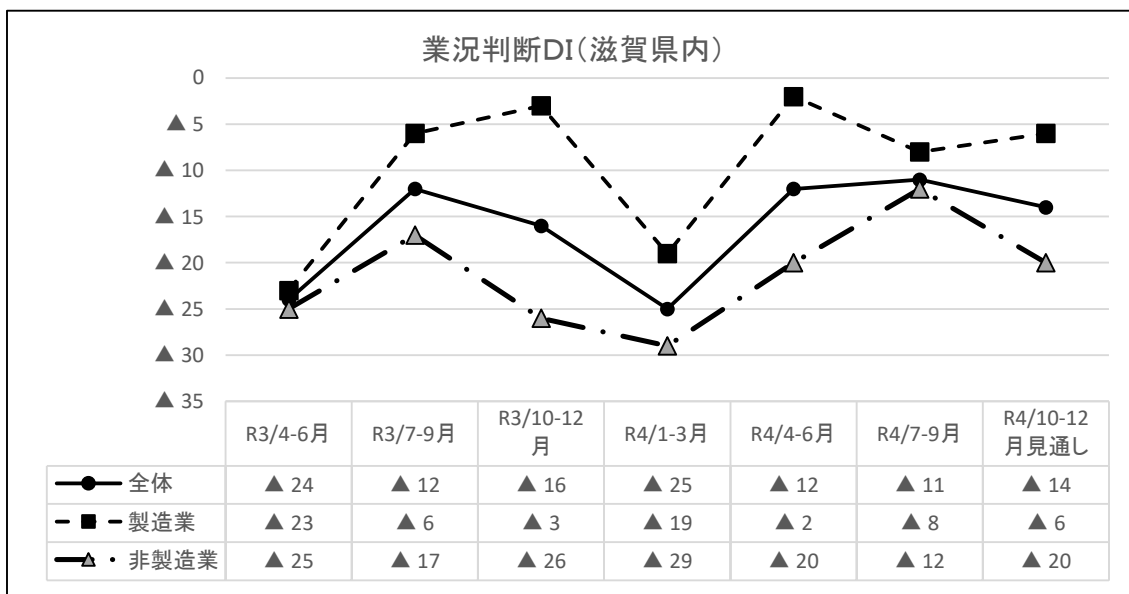
### ① 県内経済概況「概況」(令和4年8月ー令和4年10月)

R4/8	一部で弱い動きが依然みられるものの、持ち直しの動きが続いている
	製造業の生産活動は、再び持ち直しの動きがみられる。需要面では、物価の上昇がみられるものの、小売業6業態計売上高は6か月連続で増加している。投資需要では、民間設備投資は大幅な増加が続いているが、住宅投資と公共投資はいずれも大幅な減少となった。したがって県内景気の現状は、一部で弱い動きが依然みられるものの、全体に持ち直しの動きが続いているとみられる。
R4/9	緩やかに持ち直している
	製造業の生産活動は、持ち直しの動きが続いている。需要面では、物価の上昇がみられるものの、小売業6業態計売上高は7か月連続で増加している。投資需要では、民間設備投資は大幅な増加が続いているに加え、住宅投資と公共投資も増加に転じた。したがって県内景気の現状は、緩やかに持ち直しているとみられる。
R4/10	持ち直しの動きが弱まっている
	製造業の生産活動は、一進一退の動きとなっている。需要面では、物価の上昇がみられるものの、小売業6業態計売上高は8か月連続で増加している。投資需要では、好調が続いていた民間設備投資が減少に転じ、公共投資も減少が続いている。住宅投資は貸家の増加に伴い全体では増えているが、持家や分譲住宅の動きは鈍い。したがって県内景気の現状は、持ち直しの動きが弱まっているとみられる。

※内容は前月データに基づくコメント。



② 県内企業動向調査(R4/7-9月実績、R4/10-12月見通し) [前期比較]



景況感は非製造業の回復が寄与したものの、物価急騰の影響などから、横ばいにとどまる

	回答社数	R4/4-6月	R4/7-9月	傾向	R4/10-12月見通し
<b>製造業</b>	<b>119</b>	<b>▲ 2</b>	<b>▲ 8</b>	<b>×</b>	<b>▲ 6</b>
繊維	14	▲ 27	▲ 64	×	▲ 50
木材・木製品	-	-	-	-	-
紙・パルプ	-	-	-	-	-
化学	11	0	0	▲	0
石油・石炭	-	-	-	-	-
窯業・土石	-	-	-	-	-
鉄鋼	-	-	-	-	-
非鉄金属	-	-	-	-	-
食料品	8	▲ 11	13	●	38
金属製品	16	▲ 11	0	●	▲ 6
一般機械	12	10	17	●	8
電気機械	9	▲ 10	▲ 22	×	▲ 22
輸送用機械	-	-	-	-	-
精密機械	-	-	-	-	-
その他	27	13	15	●	4
<b>非製造業</b>	<b>165</b>	<b>▲ 20</b>	<b>▲ 12</b>	<b>●</b>	<b>▲ 20</b>
建設	45	▲ 21	▲ 11	●	▲ 29
不動産	13	27	8	×	8
卸売	26	▲ 38	▲ 35	●	▲ 38
小売	29	▲ 26	▲ 10	●	▲ 24
運輸・通信	10	▲ 45	▲ 50	×	▲ 20
電気・ガス	-	-	-	-	-
サービス	28	0	14	●	21
リース	-	-	-	-	-
その他	12	▲ 17	▲ 17	▲	▲ 50

③ 県内経済概況「県内景気天気図」(変化方向)

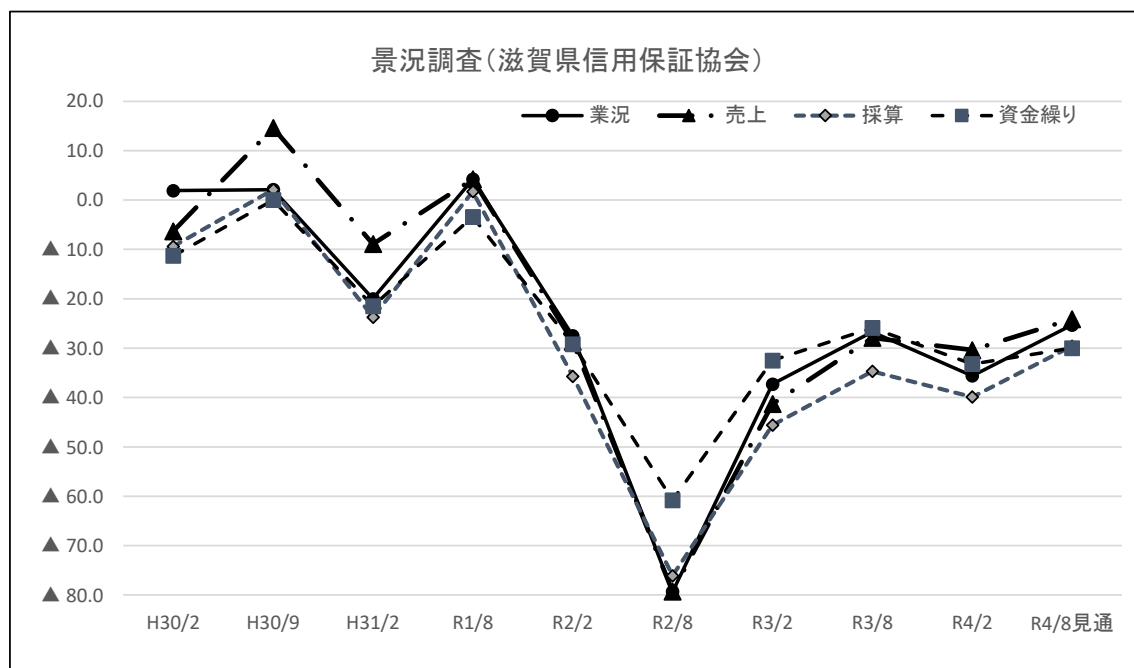
県内景気天気図	R4/4	R4/5	R4/6	R4/7	R4/8	R4/9
現在の景気	▲	●	×	●	●	▲
3か月後の景気	▲	▲	▲	▲	▲	▲
生産活動	×	●	×	●	●	×
個人消費	●	●	▲	●	▲	●
民間設備投資	●	●	●	●	●	×
住宅投資	×	●	×	×	●	▲
公共投資	●	●	×	×	●	×
雇用情勢	●	▲	▲	●	●	▲

\* 変化方向…前月比、●は好転、▲は横ばい、×は悪化を示す。

(3) 中小企業アンケート結果(滋賀県信用保証協会編)

○景況調査結果 (R4/2)

実施内容	調査時期：令和4年2月		調査方法：無記名アンケート方式			
		配布数：500	回答数：253	回答率：50.6%		
業種構成	建設業	24.1%	製造業	19.4%	サービス業	16.6%
	小売業	14.2%	不動産業	9.5%	運輸通信業	5.1%
	卸売業	4.0%	その他	5.5%		
従業員規模	5人以下：53.0%	6～20人：28.5%	21人以上：18.2%			



### 3. 近畿の景況

#### (1) 地域経済動向（近畿）（内閣府編）

令和4年9月

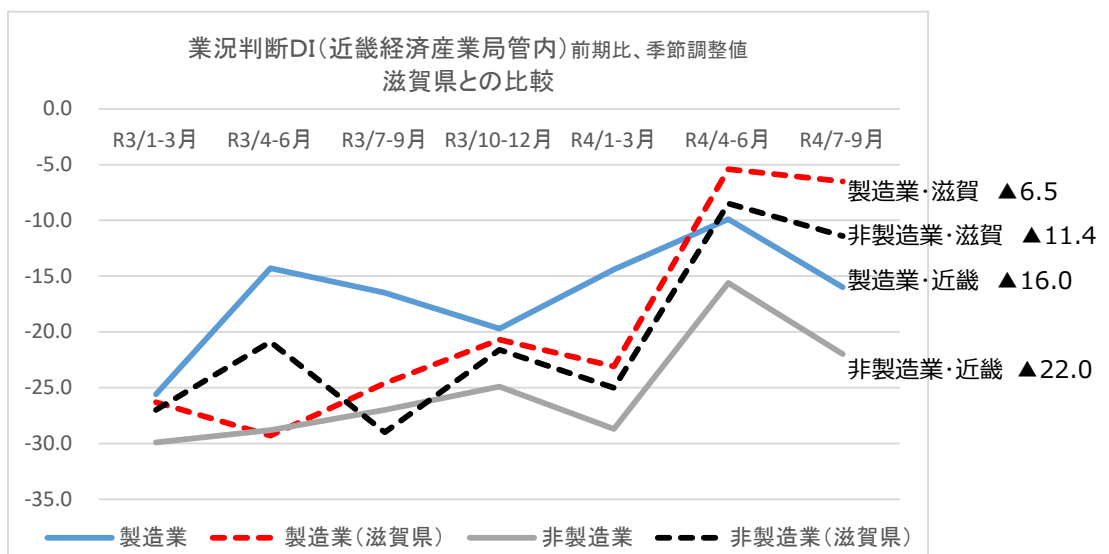
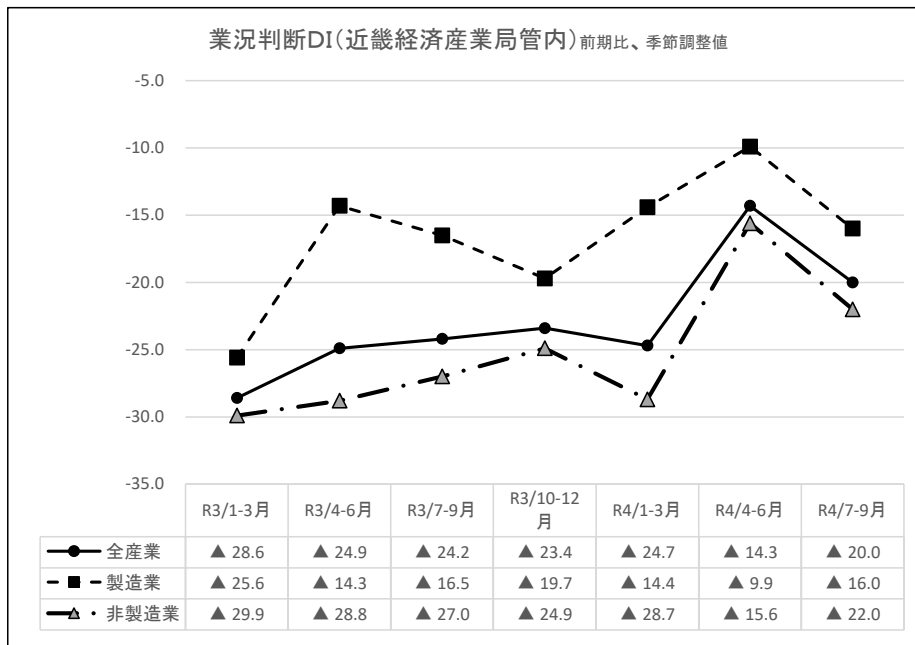
近畿地域では、景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。

- ・ 鉱工業生産は持ち直しに足踏みがみられる。
- ・ 個人消費は緩やかに持ち直している。
- ・ 雇用情勢は緩やかに持ち直している。

#### (2) 中小企業景況調査（中小企業基盤整備機構編）

「近畿地域」：業況判断DI [前期比較]

##### ① 業種別業況判断DI



#### 4. 全国の景況

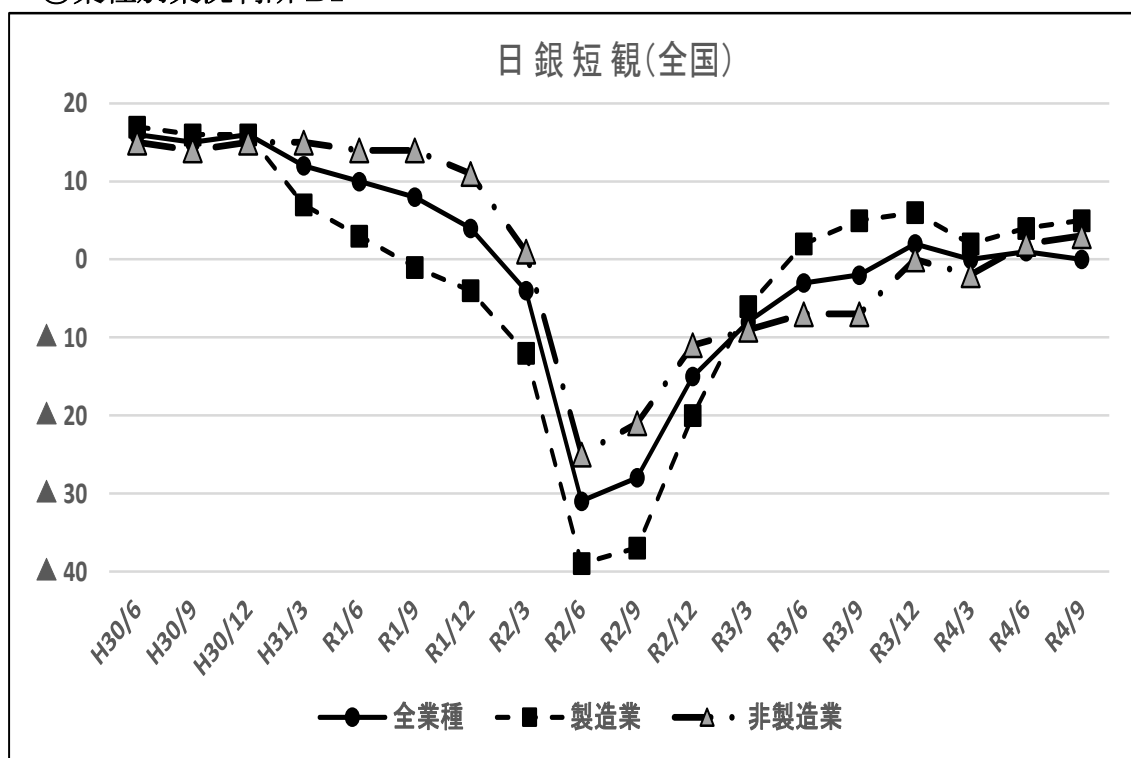
##### (1) 日銀短観（日本銀行）：業況判断 DI [前期比較]

###### ①概況

- ・大企業製造業は、前回調査（2022年6月調査）から1ポイント悪化の8となった。鉄鋼業で大きく改善したが、市況がピークアウトしたことや、円安によるコスト上昇分を販売価格に転嫁しきれなかったことが利益悪化要因となる素材業種を中心に悪化した。一方、供給制約の緩和や円安が追い風となる自動車など輸出業種は改善したものの力強さに欠け、製造業全体の悪化に歯止めをかけるには至らなかった。
- ・大企業非製造業は、前回調査から1ポイント改善の14となり、コロナ禍の最悪期からの回復が続いている。ただし、宿泊・飲食サービスでの回復が小幅だったほか、小売や対個人サービスなど多くの業種でコスト上昇の悪影響がみられ、感染第7波の収束による需要増加のプラス効果は見えにくかった。
- ・中小企業の業況判断 DI（最近）は、製造業では前回から横ばいの-4、非製造業では3ポイント改善の2となった。製造業では大企業が悪化する中での横ばい、非製造業でも大企業より改善幅が大きいなど、一見すると中小企業の方が足元での業況は良好なようであるが、2020年中盤以降のコロナ禍からの回復という観点から見ると、依然として大企業よりも回復の動きは鈍い。

（三菱UFJリサーチ&コンサルティング「経済レポート」（2022年10月3日）より）

###### ②業種別業況判断 DI



### ③設備投資計画（含む土地投資額）

大企業の設備投資計画（含む土地投資額）は、製造業では概ね横ばいとなったが、非製造業では大幅に上方修正され、9月調査として過去最大の修正率となった。旺盛な設備投資意欲の背景には、良好な企業収益環境のほか、ウィズ/アフターコロナの経済活動への適応やデジタル・トランスフォーメーション（DX）推進、環境規制への対応に迫られているといった事情があると考えられる。さらに、人手不足を受けた省力化投資、老朽化した設備の更新投資といった景気に左右されづらい投資も着実に進めていくものとみられる。

（三菱UFJリサーチ&コンサルティング「経済レポート」（2022年10月3日）より抜粋）

中小企業では、製造業において土地投資、ソフトウェア投資が6月時点より強まっており、非製造業においては研究開発投資が依然として高くなっている。

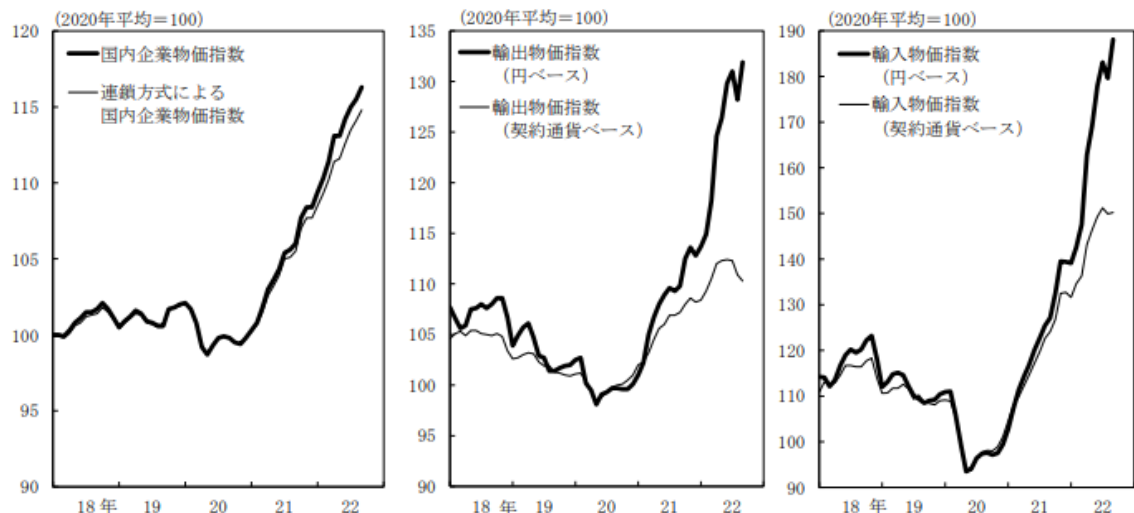
設備投資計画 (含む土地投資額)		2021年度 (実績)	2022年度 (計画)			ソフトウェア投資額		2021年度 (実績)	2022年度 (計画)		
			3月調査	6月調査	9月調査				3月調査	6月調査	9月調査
大企業	製造業	-0.5	8.4	21.5	22.0	大企業	製造業	8.7	9.5	22.5	21.1
	非製造業	-3.3	-1.6	16.8	21.2		非製造業	6.4	3.4	8.5	14.4
中小企業	製造業	6.8	-1.0	4.8	8.6	中小企業	製造業	24.1	23.6	25.0	30.4
	非製造業	5.9	-16.9	-4.6	-2.4		非製造業	28.3	-1.4	6.5	6.5

\*含む土地投資額、除くソフトウェア投資額及び研究開発投資額

土地投資額		2021年度 (実績)	2022年度 (計画)			研究開発投資額		2021年度 (実績)	2022年度 (計画)		
			3月調査	6月調査	9月調査				3月調査	6月調査	9月調査
大企業	製造業	16.0	-29.4	-37.9	-31.4	大企業	製造業	4.4	2.3	6.0	7.0
	非製造業	-19.7	-15.0	24.1	34.7		非製造業	-5.8	2.0	7.1	10.9
中小企業	製造業	8.4	-57.2	-38.2	-4.0	中小企業	製造業	1.9	8.3	10.4	8.0
	非製造業	25.8	-30.3	-26.5	-27.4		非製造業	9.7	37.7	58.5	56.9

### ④企業物価指数（2022年9月速報）

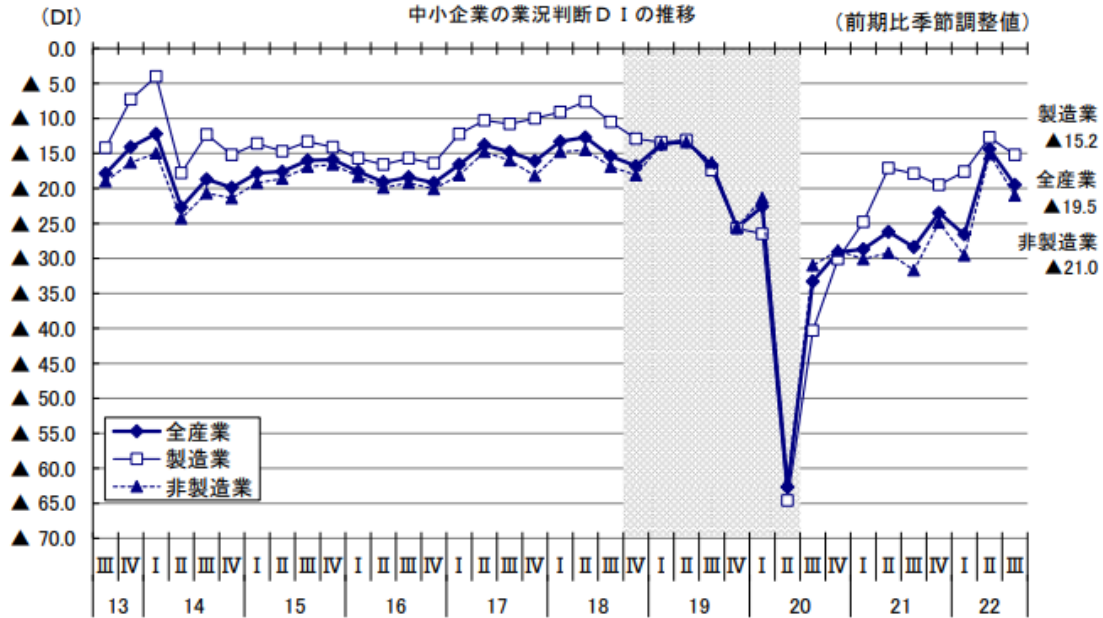
9月の企業物価指数は116.3で統計開始の1960年以降最高、前年比は9.7%でプラスは19カ月連続。資源価格の高止まりや円安による輸入物価の上昇などにより幅広い品目で値上がりしている。電力や都市ガスは昨年から4割近く上昇。歴史的な円安やロシアのウクライナ侵攻により、エネルギーや原材料の輸入価格が高止まりしていることを反映した。



(2) 中小企業景況調査 (中小企業基盤整備機構編) 「全国」 [前期比較]

①業種別業況判断DI

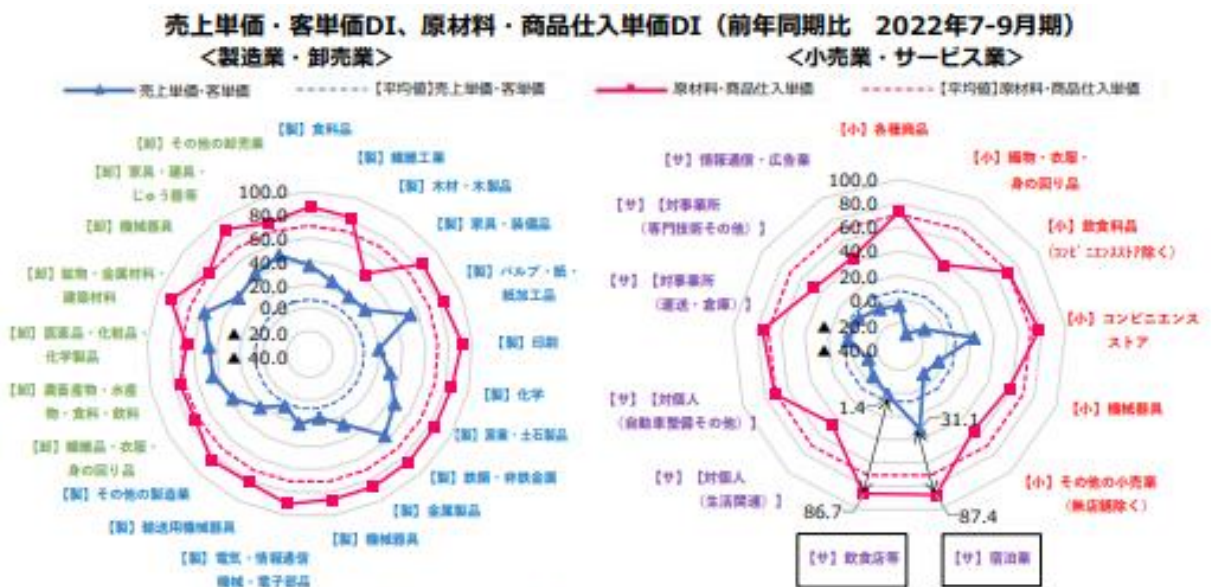
全産業の業況判断DIは▲19.5 (前期差 5.1 削減) となり、2期ぶりにマイナス幅が拡大した。製造業は▲15.2 (同 2.5 削減) と3期ぶりにマイナス幅が拡大、非製造業は▲21.0 (同 5.9 削減) と2期ぶりにマイナス幅が拡大した。



(注) シャドー部分は景気後退期

② トピックス：小売業とサービス業で価格転嫁に遅れ

業種別の「売上単価・客単価DI」について、製造業と卸売業では、全産業の値 (平均値) を上回っているが、小売業とサービス業では、平均値以下やマイナスの業種があり、価格転嫁に遅れがみられる。



(中小企業診断士 川副 郷一郎)